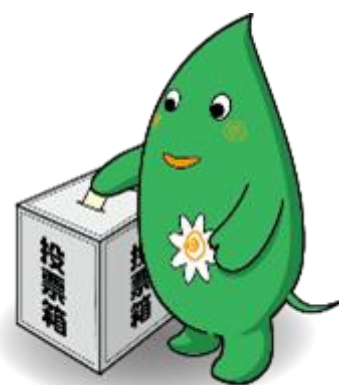


令和8年度

政治と選挙の意識調査



大和市イベントキャラクター「ヤマトン」

大和市明るい選挙推進協議会
大和市選挙管理委員会

◆◆はじめに◆◆

本調査は、大和市の有権者を対象に、政治への関心や意見、選挙に対する意識や行動、政治教育へのニーズを把握することを目的として毎年度実施しています。

今年度は、令和8年2月8日に執行された衆議院議員総選挙の後となり、選挙結果やそれに伴う影響を踏まえた設問を盛り込んでいます。

今回の衆議院議員総選挙では、投票率が54.88%となり、前回より2.31ポイント上昇しました。また、期日前投票者数は51,003人で、前回より13,724人増加しました。

本調査では、電子申請によるウェブ回答を令和7年度から導入しており、今回は総回答件数289件のうち150件が電子申請によるもので、紙回答の139件を上回りました。このことから、調査手法の変化が定着しつつあることがうかがえます。

なお、調査結果は今後の啓発活動の基礎資料として活用されます。大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会では、引き続き啓発活動に取り組んでいきます。

令和8年10月

大和市明るい選挙推進協議会
大和市選挙管理委員会

1 調査の概要	4
1. 調査の目的	4
2. 調査の方法	4
(1)調査対象者:市内に居住する満18歳以上の男女	4
(2)調査対象者数:1,000人	4
(3)抽出方法:選挙人名簿から無作為に抽出	4
(4)調査方法:郵便調査(回答はウェブまたは郵便)	4
3. 調査した事項	4
4. 調査の実施時期	4
5. 調査票の回収数・回収率	4
6. 調査結果の分析	4
7. 調査の実施主体	4
2 回答者の属性	5
3 調査結果	6
問1 現在の生活についてどう感じていますか。(1つ選択)	6
問2 現在の国の政治についてどう感じていますか。(1つ選択)	6
問3 国の政治に関心がありますか。(1つ選択)	6
問4 大和市の市政に関心がありますか。(1つ選択)	7
問5 政治や選挙に関する情報を得るために利用しているものはどれですか。(複数選択)	7
問6 これまでの選挙でどの程度投票していますか。(1つ選択)	8
問7A 投票に行く主な理由は何ですか。(1つ選択)	8
問7B 投票に行かない(行けない)主な理由は何ですか。(複数選択可)	9
問8 あなたが望む投票環境はどれですか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。	9
問9 政治・選挙に関する教育についてお答えください。	10
問9-1 政治や選挙について、十分に学ぶことができましたか。(1つ選択)	10
問9-2 政治や選挙について、主にどこで学びましたか。(複数選択可)	10
問9-3 政治や選挙についてもっと学びたいと思いますか。(1つ選択)	11

自由意見欄(概要)	11
政治や選挙の情報提供	11
政治や選挙に関する学びの意欲	11
政治への不信感・改善要望	12
若年層の政治参加と教育	12
具体的な政策への要望	12
考察	13
今後の取組の方向性	13
情報提供の充実	13
投票環境の利便性向上	13
主権者教育の充実	13
世代に応じた啓発の実施	13
投票意義の周知	13
4 調査票	14
調査票 表面	14
調査票 裏面	15
5 資料(平成以降に実施された大和市での各選挙の投票率)	16
(1)国政選挙の投票率	16
衆議院小選挙区選出議員選挙投票率の推移	16
参議院神奈川県選出議員選挙投票率の推移	16
(2)県の選挙の投票率	17
神奈川県知事選挙投票率の推移	17
神奈川県議会議員選挙投票率の推移	17
(3)市の選挙の投票率	18
大和市長選挙投票率の推移	18
大和市議会議員選挙投票率の推移	18

1 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、有権者の生活意識や政治に対する意識に加え、選挙時における投票行動の実態などを把握し、今後の選挙啓発活動の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査の方法

- (1)調査対象者:市内に居住する満18歳以上の男女
- (2)調査対象者数:1,000人
 - ①18歳の有権者から100人
 - ②19歳の有権者から100人
 - ③20歳以上の有権者から800人
- (3)抽出方法:選挙人名簿から無作為に抽出
- (4)調査方法:郵便調査(回答はウェブまたは郵便)

3. 調査した事項

調査票のとおり(14・15ページ参照)

4. 調査の実施時期

令和8年9月1日発送(令和8年9月30日締切)

5. 調査票の回収数・回収率

- ウェブでの回答:150
- 郵便での回答:139
- 総計:289
- 回収率:28.9%(前回比 3.6ポイント低下)

6. 調査結果の分析

大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会

7. 調査の実施主体

大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会

2 回答者の属性

1.性別

性別	回答数	比率
男性	135	46.7%
女性	144	49.8%
その他	0	0.0%
無回答	10	3.5%
計	289	100%

2.年代別

年代	回答数	比率
18～19 歳	27	9.3%
20 代	14	4.8%
30 代	45	15.6%
40 代	36	12.5%
50 代	42	14.5%
60 代	36	12.5%
70 代	46	15.9%
80 歳以上	33	11.4%
無回答	10	3.5%
計	289	100.0%

3.職業

職業	回答数	比率
会社員	106	36.7%
会社役員	4	1.4%
公務員	15	5.2%
パート・アルバイト	36	12.5%
自営業・個人事業主	12	4.2%
学生	23	8.0%
専業主婦(夫) ・家事手伝い	40	13.8%
無職・求職中	23	8.0%
その他	18	6.2%
無回答	12	4.2%
計	289	100%

4.居住地域

居住地域	回答数	比率
中央林間 ・つきみ野地域	80	27.7%
南林間・鶴間地域	66	22.8%
大和・相模大塚地域	82	28.4%
桜ヶ丘地域	25	8.7%
高座渋谷地域	24	8.3%
無回答	12	4.2%
計	289	100.0%

5.居住年数

居住年数	回答数	比率
5 年未満	65	22.5%
5 年以上 10 年未満	33	11.4%
10 年以上	180	62.3%
わからない	2	0.7%
無回答	9	3.1%
計	289	100.0%

6.投票所までの所要時間

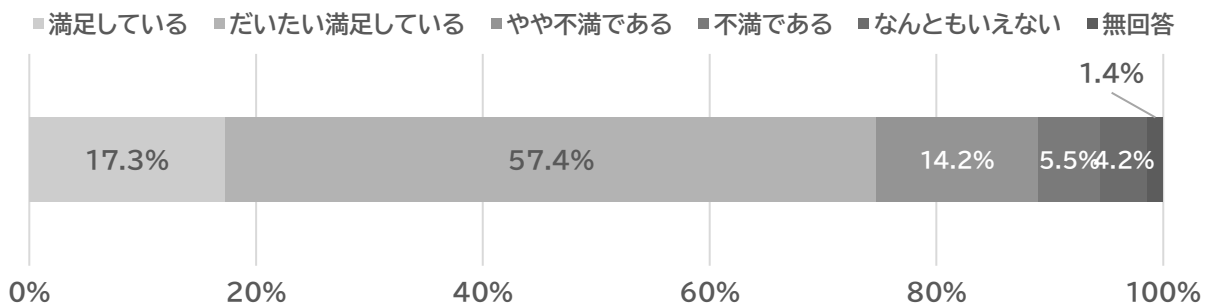
所要時間	回答数	比率
5 分未満	59	20.4%
5分以上10分未満	126	43.6%
10分以上20分未満	69	23.9%
20分以上	19	6.6%
わからない	6	2.1%
無回答	10	3.5%
計	289	100.0%

7.大和市への愛着

市への愛着	回答数	比率
とても感じる	63	21.8%
まあ感じる	176	60.9%
あまり感じない	39	13.5%
まったく感じない	1	0.3%
無回答	10	3.5%
計	289	100.0%

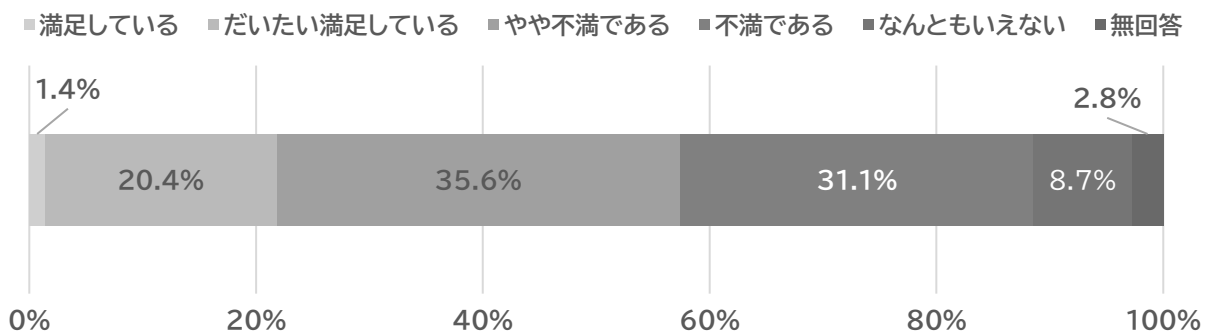
3 調査結果

問1 現在の生活についてどう感じていますか。(1つ選択)



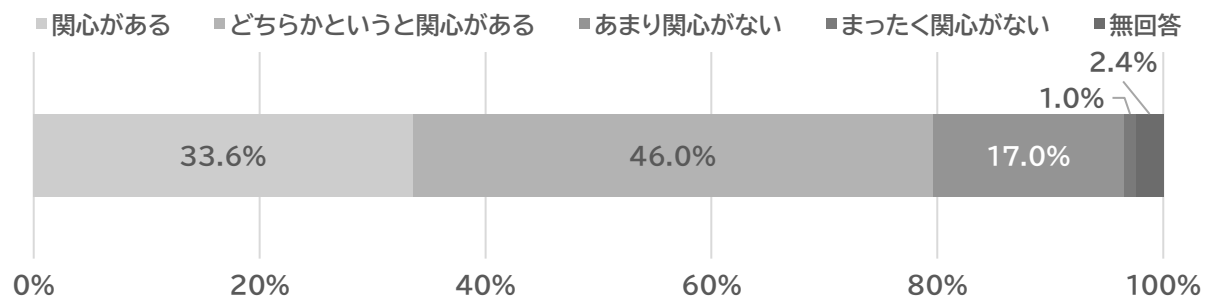
上記の図から、「満足している」が17.3%、「だいたい満足している」が57.4%と、約7割以上の方が現在の生活に満足していると回答しています。

問2 現在の国の政治についてどう感じていますか。(1つ選択)



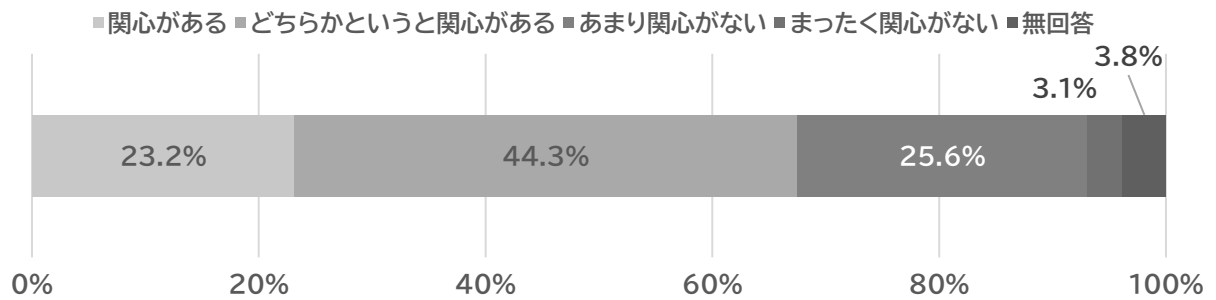
上記の図から、「満足している」が1.4%、「だいたい満足している」が20.4%と、約2割に留まる一方で、「やや不満である」が35.6%、「不満である」が31.1%と、おおむね6割以上の方が現在の国の政治に対して不満を感じていると回答しています。

問3 国の政治に関心がありますか。(1つ選択)



上記の図から、「関心がある」が33.6%、「どちらかというに関心がある」が46%と、約8割の方が国政に興味があると回答しています。やはり、国政に対する国民の関心度合は依然として高い結果となっています。

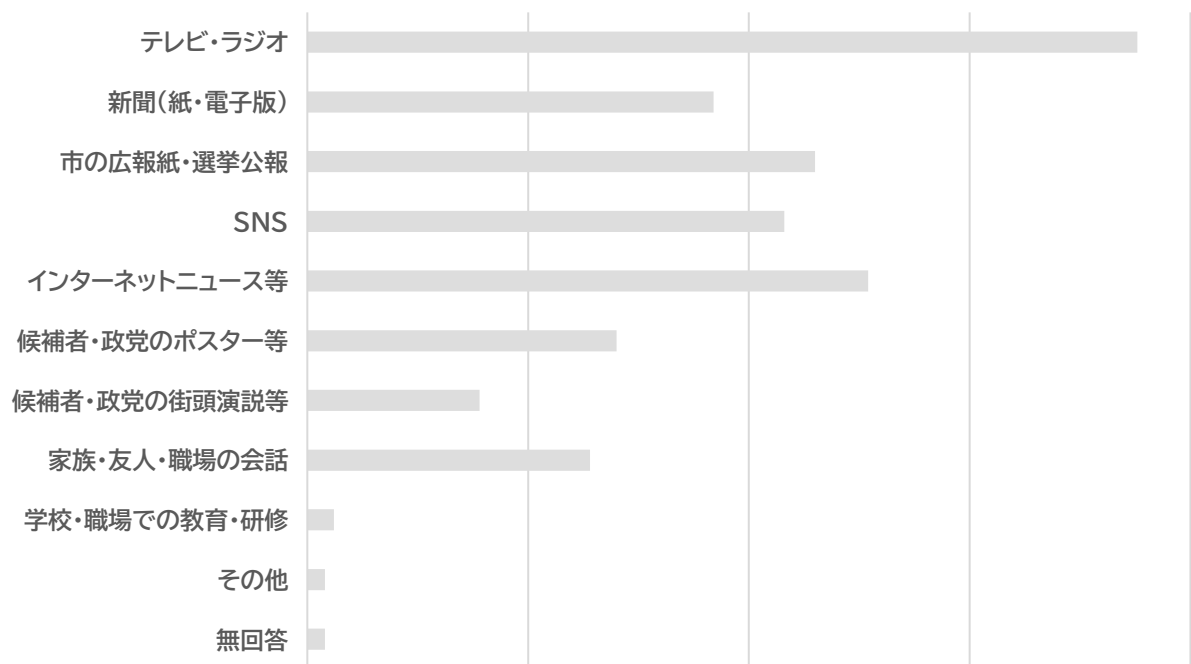
問4 大和市の市政に関心がありますか。(1つ選択)



回答結果を見ると、「関心がある」が23.2%、「どちらかというに関心がある」が44.3%となり、合計で約67.5%の回答者が市政に対して関心を持っていることが分かりました。一方で、「あまり関心がない」が22.1%、「関心がない」が6.2%となり、一定数の回答者が市政への関心を持っていないことも確認されました。

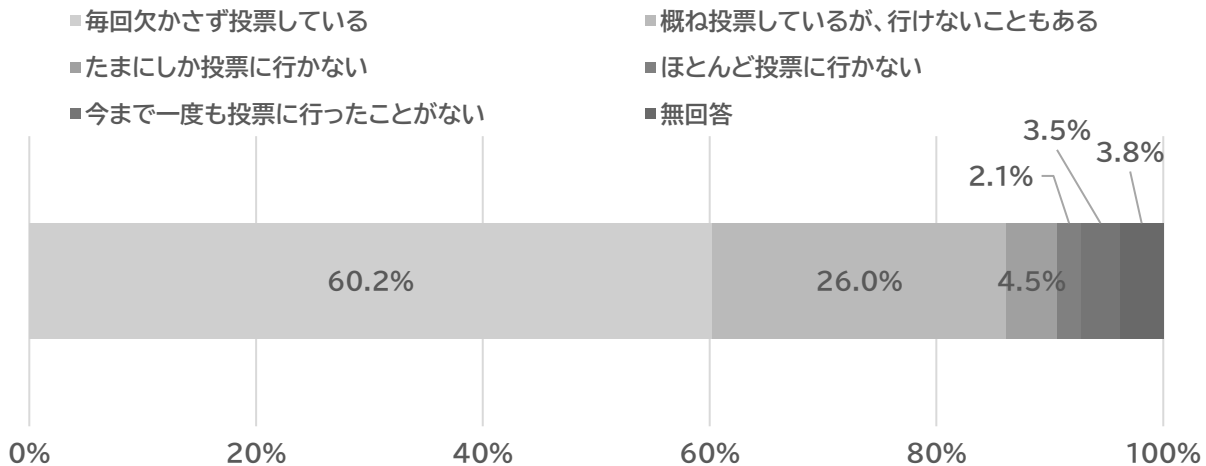
問5 政治や選挙に関する情報を得るために利用しているものはどれですか。(複数選択)

選挙の情報を何から得るか



政治や選挙に関する情報源については、「テレビ・ラジオ」が最も多く選ばれ、次いで「インターネットニュース等」「市の広報紙・選挙公報」が上位を占めました。複数選択が可能な設問であるため、これらの情報源を併用している回答者も多く見られました。また、「SNS・インターネット」や「新聞」も一定の支持を得ており、回答者が多様な情報源を活用していることが分かりました。

問6 これまでの選挙でどの程度投票していますか。(1つ選択)

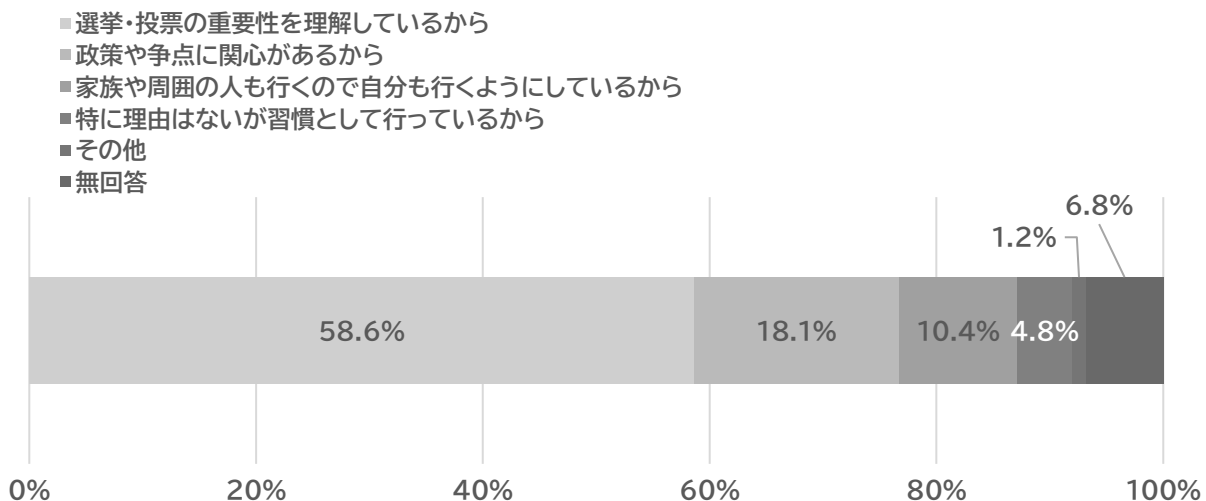


「毎回欠かさず投票している」が60.2%と最も多く、次いで「概ね投票に行っている」が26%となり、合計で約86.2%の回答者が選挙で投票を行う傾向にあることが分かりました。一方で、「たまにしか投票に行かない」が4.5%、「ほとんど投票に行かない」が2.1%、「今まで一度も投票に行ったことがない」が3.5%となり、投票行動をあまり行わない層も一定数存在していることが確認されました。

※問7は、問6の回答によって分岐

- 問6で「毎回欠かさず投票している」「概ね投票しているが、行けないこともある」と回答した人は、問7Aへ
- 問6で「たまにしか投票に行かない」「ほとんど投票に行かない」「今まで一度も投票に行ったことがない」と回答した人は、問7Bへ

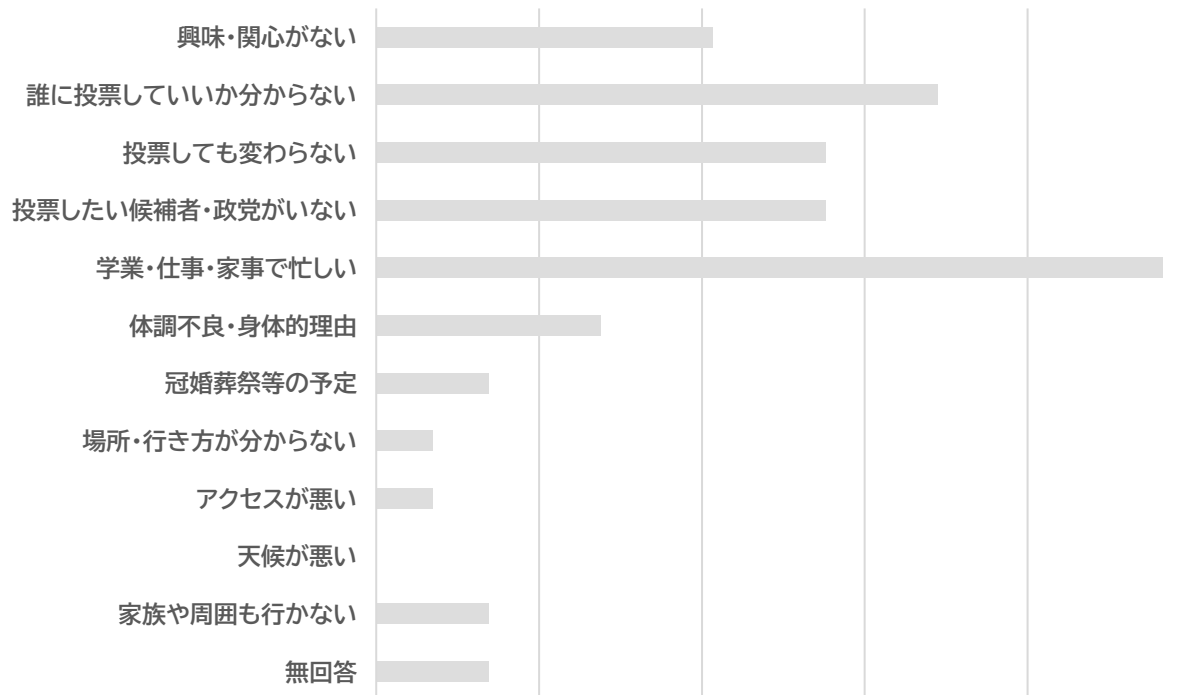
問7A 投票に行く主な理由は何ですか。(1つ選択)



投票に行く理由としては、「選挙・投票の重要性を理解しているから」が58.6%と最も多く、次いで「政策や争点に関心があるから」が17.2%、「家族や周囲の人も行くので自分も行くようにしているから」が10.3%となりました。これらの結果から、回答者の多くが選挙や投票の重要性を認識していることが分かりました。

問7B 投票に行かない(行けない)主な理由は何ですか。(複数選択可)

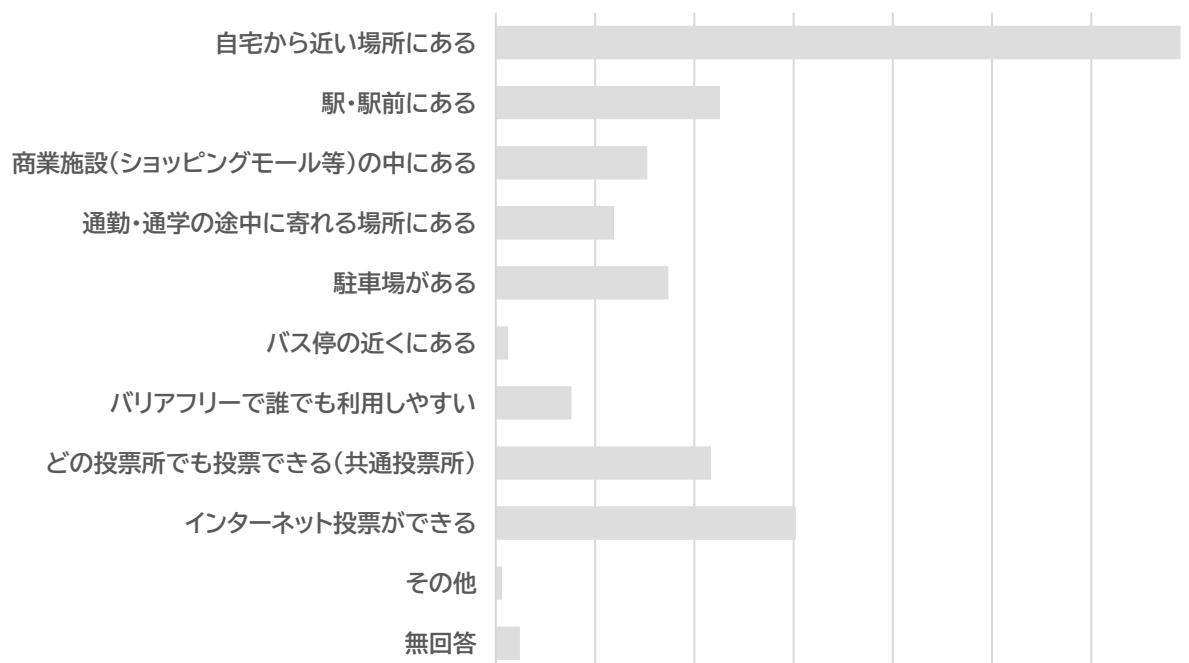
投票に行かない理由



投票に行かない理由については、「学業・仕事・家事で忙しい」が35.6%と最も多く、次いで「誰に投票していいかわからない」が24.5%、「投票しても変わらない」が22.8%、「投票したい候補者・政党がない」が22.8%となりました。この結果から、時間的制約や候補者・政党に関する情報不足が投票行動に影響を与えていることが分かりました。

問8 あなたが望む投票環境はどれですか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。

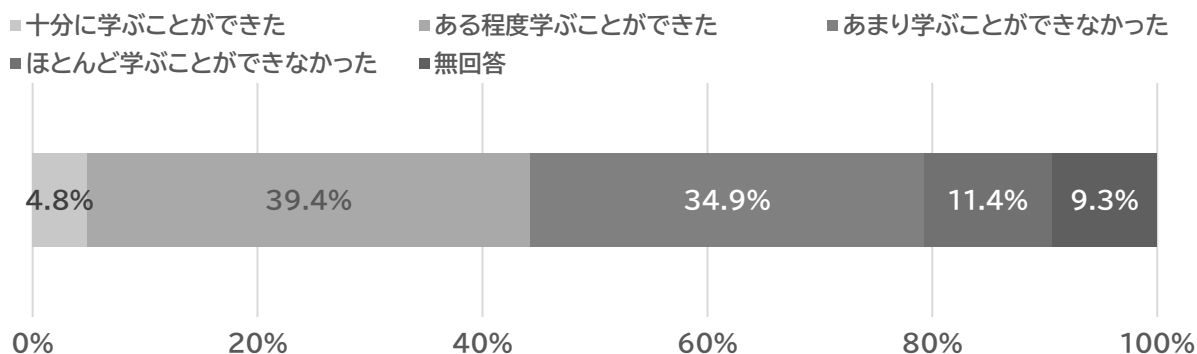
有権者の望む投票環境



望まれる投票環境としては、「自宅から近い場所にある投票所」が最も多く選ばれ、次いで「インターネット投票ができる」「駅・駅前にある」「どの投票所でも投票できる（共通投票所）」が支持を集めました。この結果から、有権者が投票所の利便性や柔軟性を求めていることが分かりました。

問9 政治・選挙に関する教育についてお答えください。

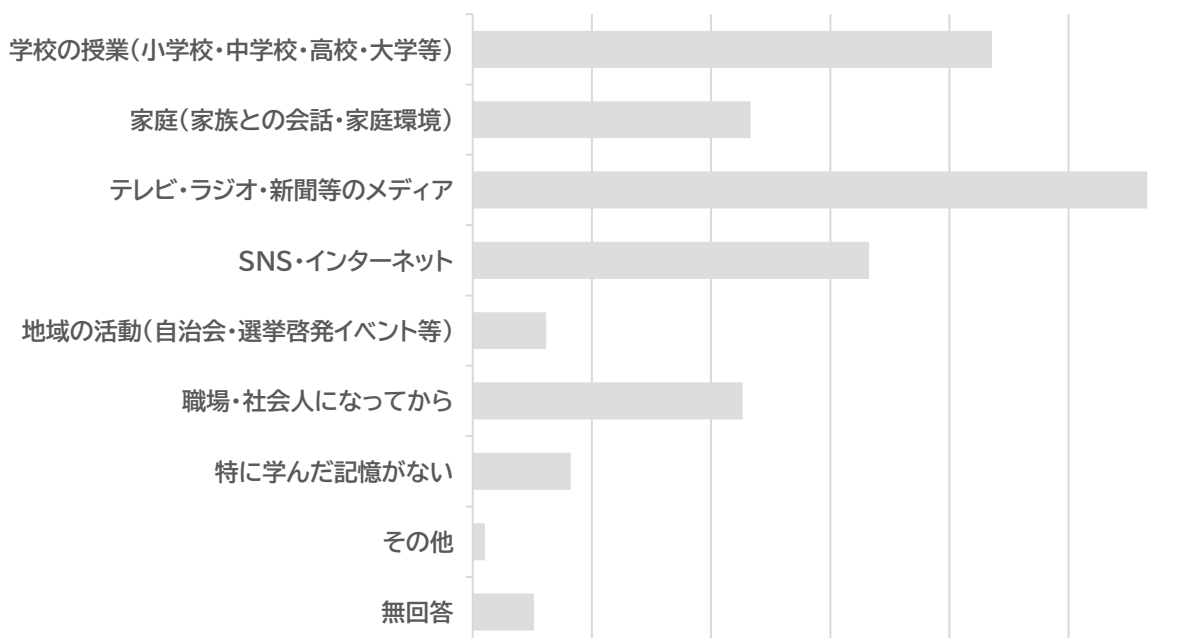
問9-1 政治や選挙について、十分に学ぶことができましたか。（1つ選択）



政治や選挙についての学びについては、「十分に学ぶことができました」が10%、「ある程度学ぶことができました」が34.2%となり、合計で44.2%の回答者が一定の学びを得られたと感じていることが分かりました。一方で、「あまり学ぶことができなかった」が33.6%、「ほとんど学ぶことができなかった」が12.7%となり、学びが十分ではなかったと感じている回答者が46.3%に上りました。

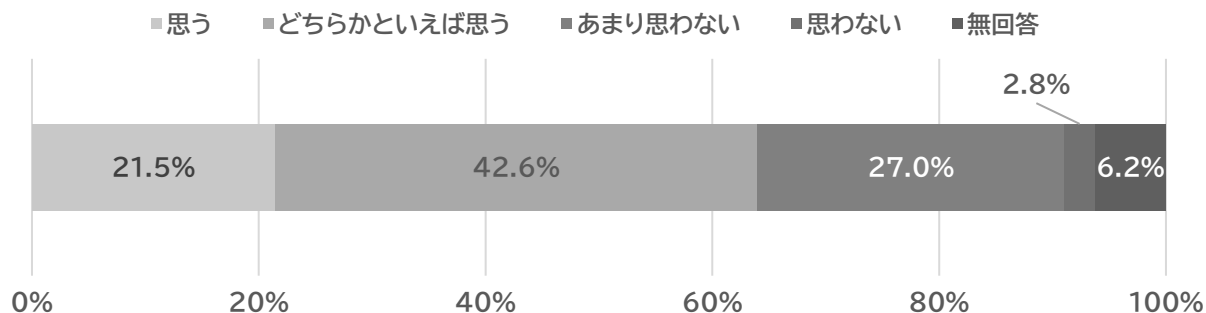
問9-2 政治や選挙について、主にどこで学びましたか。（複数選択可）

政治や選挙をどこで学んだか



政治や選挙についての学びの場としては、「テレビ・ラジオ・新聞等のメディア」が最も多く選ばれ、次いで「学校の授業（小・中・高・大学等）」や「SNS・インターネット」が上位を占めました。また、「家庭（家族との会話・家庭環境）」や「職場・社会人になってから」も一定の支持を得ており、有権者が多様な場で学びを得ていることが分かりました。

問9-3 政治や選挙についてもっと学びたいと思いますか。(1つ選択)



政治や選挙についての学習意欲については、「思う」が26.3%、「どちらかといえば思う」が37.8%となり、合計で64.1%の回答者が学びたいと感じていることが分かりました。一方で、「あまり思わない」が22.1%、「思わない」が7.7%となり、約3割の回答者が学習意欲を持っていないことも確認されました。

自由意見欄(概要)

政治や選挙の情報提供

1. 選挙候補者の情報が市のLINE等でも発信されると分かりやすくなると思う。
2. 各政党の情報を集約したポータルサイトが欲しい。
3. 投票所の設置やポスター掲示に税金が無駄に使われていると感じる。
4. 政治についてオープンにしてほしい。市民がチェックするのは難しいので、積極的に開示して欲しい。
5. 国や自治体の政策に関する平素の広報が重要なのに、選挙にならないと広報しないように感じる。

まとめ:有権者は、選挙候補者や政党の情報を簡単に取得できる仕組みを求めています。また、情報の透明性や税金の使い道に関する関心があることも見られます。

政治や選挙に関する学びの意欲

1. 義務教育時代から、選挙に参加することは権利であることを学ぶことが大切。
2. 子どもの時から投票の重要性について学ぶべき。
3. 今知っている政治に関することからもっと踏み込んだ内容を学びたい。
4. 各党の公約内容や政策をもっと明確に知りたい。
5. 自分の生活に政治がどう影響するのか具体的に知りたい。

まとめ:有権者は、政治の基礎知識や選挙の重要性を学ぶ機会を求めており、特に市民生活への具体的な影響について知りたいという声が多く見られます。

政治への不信感・改善要望

- 1.政治家は選挙の時以外、国民の方を見ていないと感じる。
- 2.政治家は国民のために働くより、自分たちのために働いている感じがする。
- 3.報道はあまり信じられない。誠実に正しく平等に行われてほしい。
- 4.税金の使い道が不透明である。
- 5.議員の不祥事が多く、適切な監査の必要性を感じる。

まとめ:政治家の姿勢や税金の使い道への不信感が根強く、報道の公平性や政治の透明性を求める声が多く寄せられています。

若年層の政治参加と教育

- 1.若い世代がもっと政治に関心を持てるイベントを開催してほしい。
- 2.小学生低学年から政治について学ぶ機会を設けるべき。
- 3.簡単な経済学を中学生くらいで学べるといい。
- 4.学校生活で政治について学ぶ機会を増やしてほしい。
- 5.若者が政治について話す機会を増やし、関心を高める仕組みを作してほしい。

まとめ:若年層が政治に関心を持つための教育やイベントが求められており、特に学校教育における政治学習の充実が重要視されています。

具体的な政策への要望

- 1.外国人の生活保護を見直してほしい。
- 2.大和駅前の黒服の徘徊を規制してほしい。
- 3.交通渋滞解消のための具体策を求める。
- 4.防衛費の増額よりも国民の生活支援を優先してほしい。
- 5.税金の使途について不明瞭なことが多く、透明化を求める。

まとめ:外国人政策や治安対策、交通渋滞の解消など、具体的な課題への対応が求められており、税金の使い道に関する透明性も重要視されています。

考察

本調査結果から、大和市の有権者は政治や選挙に一定の関心を持ちながらも、その関心が投票行動に十分結び付いていない状況が明らかになりました。国政に対する関心は高く、市政も過半数が関心を示している一方、政治に対する満足度は低く、期待と現実の間にギャップを感じる回答が多く見られました。

投票行動については、「毎回欠かさずに投票している」「概ね投票している」と回答した人が多く、投票意識は比較的高いものの、「学業・仕事・家事で忙しい」「誰に投票してよいかわからない」といった理由で投票をしない層も一定数存在しています。これらの回答から、投票率向上には、投票機会の確保だけでなく、候補者や政策に関する情報提供の充実や、投票の意義を伝える取組が重要であることが分かります。

また、情報取得手段としては「テレビ・ラジオ」「インターネットニュース等」「市の広報紙・選挙公報」が主に利用されており、年代によって利用する媒体に違いが見られました。啓発活動では、世代ごとの特性を踏まえた情報発信が求められます。

さらに、望ましい投票環境としては、「自宅から近い場所にある投票所」が最も支持され、「駅・駅前」「商業施設内」「共通投票所」など、利便性を重視する傾向が確認されました。「インターネット投票ができる」への期待も高く、投票のしやすさを求める声が多いことが分かりました。

政治や選挙に関する教育については、学ぶ機会が十分ではなかったと感じる層が一定数存在する一方で、「もっと学びたい」とする回答が6割を超えており、学習意欲の高さもうかがえます。学校教育に加え、メディアや家庭、職場など、多様な場面で政治や選挙に触れる環境づくりが重要です。

今後の取組の方向性

情報提供の充実

候補者や政策、選挙制度に関する情報を分かりやすく整理し、広報紙やウェブサイト、SNSなどを活用して発信していくことで、有権者が必要な情報にアクセスしやすい環境を整えることが重要です。

投票環境の利便性向上

自宅から近い場所や駅前、商業施設など、日常生活の動線上に投票所を設置するなど、柔軟に投票できる仕組みを検討することが有権者のニーズに応えることにつながると考えられます。

主権者教育の充実

若年層への主権者教育をさらに進めるとともに、成人に対しても学び直しの機会を提供することで、政治や選挙への関心を高めることが期待されます。

世代に応じた啓発の実施

若年層にはSNSやインターネットを活用した情報発信、高齢層には広報紙や既存メディアを活用するなど、世代ごとの情報接触の特性に応じた方法が効果的と考えられます。

投票意義の周知

投票が生活や地域社会にどのように影響を与えるかを具体的に伝えることで、投票行動の重要性を有権者に実感してもらえるような啓発が大切です。

これらの方向性を参考に、今後の啓発活動を進めることで、有権者の関心を投票行動につなげるための一助となることが期待されます。

4 調査票

調査票 表面

令和8年度		大和市明るい選挙推進協議会 大和市選挙管理委員会事務局 電話:046-260-5542 受付時間:平日 9:00~17:00	
政治と選挙の意識調査			
《回答についてのお願い》			
1 必ずご本人が回答してください。			
2 右のQRコードをスマートフォン等で読み込むと簡単にWEBから回答できます。			
【WEBでの回答が難しい場合】			
・この調査票を使ってご回答いただけます。			
・紙の調査票でご回答いただく場合は、あてはまる選択数の口を塗りつぶしてください。			
※はみ出したり、塗りつぶしが甘いと正しく集計されない場合がありますので、ご協力をお願いいたします。			
・設問は上から順に回答してください。指示がある場合は、それに従ってください。			
・お手数ですが、同封の返信用封筒にて9月30日(水)までにご返送くださいますようお願いいたします。			
■ あなた自身のことについてお答えください。			
性 別			
☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他			
年 齢			
☐ 18~19歳 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代			
☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80歳以上			
職 業			
☐ 会社員 ☐ 会社役員 ☐ 公務員 ☐ パート・アルバイト			
☐ 自営業・個人事業主 ☐ 学生 ☐ 専業主婦(夫)・家事手伝い			
☐ 無職・求職中 ☐ その他()			
居住地域(※最寄り駅がどの地域かをお答えください。)			
☐ 中央林間・つきみ野地域 ☐ 南林間・鶴間地域			
☐ 大和・相模大塚地域 ☐ 桜ヶ丘地域			
☐ 高座渋谷地域			
居住年数			
☐ 5年未満 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 10年以上			
☐ わからない			
投票所までの所要時間			
※自宅から徒歩の場合の目安			
☐ 5分未満 ☐ 5分以上10分未満 ☐ 10分以上20分未満			
☐ 20分以上 ☐ わからない			
大和市への愛着			
☐ とても感じる ☐ まあ感じる ☐ あまり感じない			
☐ まったく感じない			
		問1 現在の生活についてどう感じていますか。(1つ選択)	
		☐ 満足している	
		☐ だいたい満足している	
		☐ やや不満である	
		☐ 不満である	
		☐ なんともいえない	
		問2 現在の国の政治についてどう感じていますか。(1つ選択)	
		☐ 満足している	
		☐ だいたい満足している	
		☐ やや不満である	
		☐ 不満である	
		☐ なんともいえない	
		問3 国の政治に関心がありますか。(1つ選択)	
		☐ 関心がある	
		☐ どちらかというと関心がある	
		☐ あまり関心がない	
		☐ まったく関心がない	
		▼ そう答えた理由があれば、お書きください。	
		問4 大和市の市政に関心がありますか。(1つ選択)	
		☐ 関心がある	
		☐ どちらかというと関心がある	
		☐ あまり関心がない	
		☐ まったく関心がない	
		▼ そう答えた理由があれば、お書きください。	
		問5 政治や選挙に関する情報を得るために利用しているものはどれですか。(複数選択可)	
		※投票する・しないに関わらず、全員お答えください。	
		☐ テレビ・ラジオ	
		☐ 新聞(紙・電子版)	
		☐ 市の広報紙・選挙公報	
		☐ SNS(X・Instagram・YouTube・TikTok・LINE など)	
		☐ インターネットニュース・ポータルサイト	
		☐ 候補者・政党のポスター・ビラ・パンフレット	
		☐ 候補者・政党の街頭演説・選挙カー・演説会	
		☐ 家族・友人・職場の人との会話	
		☐ 学校・職場での教育・研修	
		☐ その他()	

▼▼▼ 裏面に続きます ▼▼▼

調査票 裏面

問6 これまでの選挙でどの程度投票していますか。(1つ選択)	
☐ 1 毎回欠かさず投票している ☐ 2 概ね投票しているが、行けないこともある	⇒【問7A】へ進む
☐ 3 たまにしか投票に行かない ☐ 4 ほとんど投票に行かない ☐ 5 今まで一度も投票に行っていない	⇒【問7B】へ進む

問7 投票に対するあなたのお考えをお聞かせください。 ※問6の回答によって、【問7A】か【問7B】のどちらか一方のみお答えください。	
【問7A】 問6で1・2を選んだ方 投票に行く主な理由は何ですか。 (1つ選択)	【問7B】 問6で3・4・5を選んだ方 投票に行かない(行けない)主な理由は何ですか。 (複数選択可)
☐ 選挙・投票の重要性を理解しているから ☐ 政策や争点に関心があるから ☐ 家族や周囲の人も行くので自分も行くようにしているから ☐ 特に理由はないが習慣として行っているから ☐ その他 ()	«意識・関心の問題» ☐ 政治や選挙に興味・関心がないから ☐ 誰に投票していいかわからないから ☐ 投票しても何も変わらないと思うから ☐ 投票したい候補者・政党がないから «環境・状況の問題» ☐ 学業・仕事・家事で忙しかったから ☐ 体調不良や身体的な理由があるから ☐ 冠婚葬祭・プライベートな予定があったから ☐ 投票所の場所・行き方が分からなかったから ☐ 投票所へのアクセスが悪いから ☐ 天候が悪かったから ☐ 家族や周囲の人も投票に行かないから ☐ その他 ()

↓問8へ進む

↓問8へ進む

問8 あなたが望む投票環境はどれですか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。
«場所・アクセス» ☐ 自宅から近い場所にある ☐ 駅・駅前にある ☐ 商業施設(ショッピングモール等)の中にある ☐ 通勤・通学の途中に寄れる場所にある ☐ 駐車場がある ☐ バス停の近くにある «設備・サービス» ☐ バリアフリーで誰でも利用しやすい ☐ どの投票所でも投票できる(共通投票所) ☐ インターネット投票ができる ☐ その他 ()

問9 政治・選挙に関する教育についてお答えください。
問9-1 政治や選挙について、十分に学ぶことができましたか。(1つ選択)
☐ 十分に学ぶことができた ☐ ある程度学ぶことができた ☐ あまり学ぶことができなかった ☐ ほとんど学ぶことができなかった

問9-2 政治や選挙について、主にどこで学びましたか。(複数選択可)
☐ 学校の授業(小学校・中学校・高校・大学等) ☐ 家庭(家族との会話・家庭環境) ☐ テレビ・ラジオ・新聞等のメディア ☐ SNS・インターネット ☐ 地域の活動(自治会・選挙啓発イベント等) ☐ 職場・社会人になってから ☐ 特に学んだ記憶がない ☐ その他 ()

問9-3 政治や選挙についてもっと学びたいと思いますか。(1つ選択)
☐ 思う ☐ どちらかといえば思う ☐ あまり思わない ☐ 思わない ▼「思う」を選んだ方: どのような内容を学びたいですか?

◎ 自由意見欄
政治や選挙について日頃から感じていること、またはこのアンケートに回答して感じたこと等、自由にご記入ください。

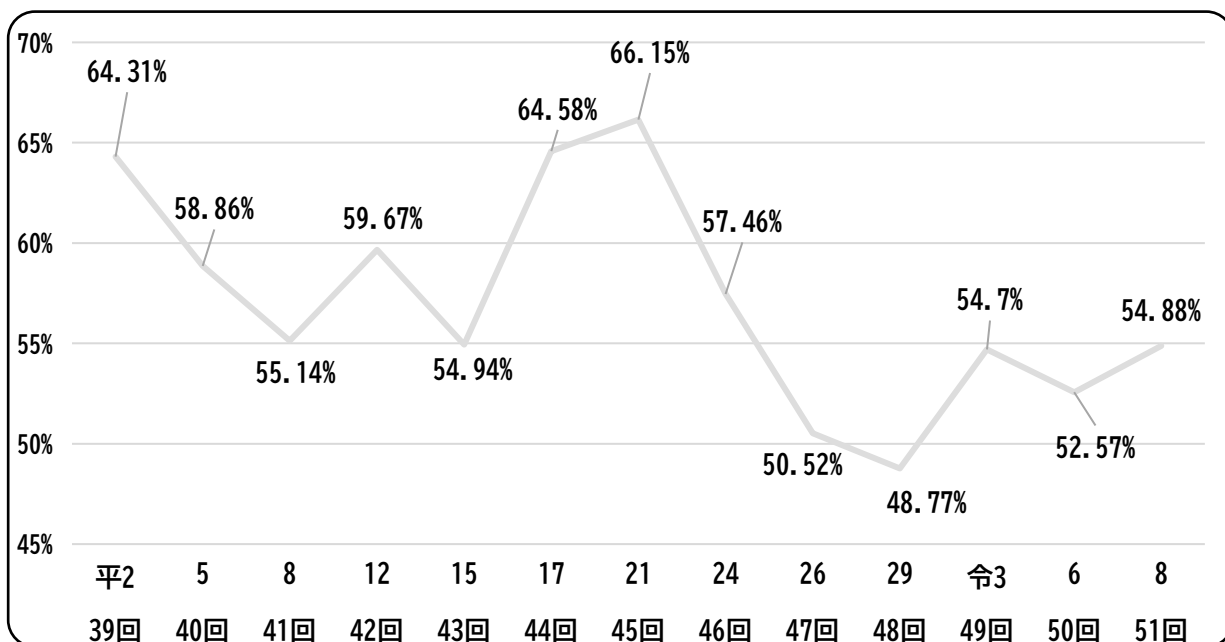
設問は以上です。ご回答ありがとうございました。
調査結果は、今後の啓発活動を効果的に行うための貴重な資料として役立てさせていただきます。 この調査が、政治や選挙への関心を高めるきっかけとなれば幸いです。
大和市明るい選挙推進協議会 大和市選挙管理委員会事務局



5 資料(平成以降に実施された大和市での各選挙の投票率)

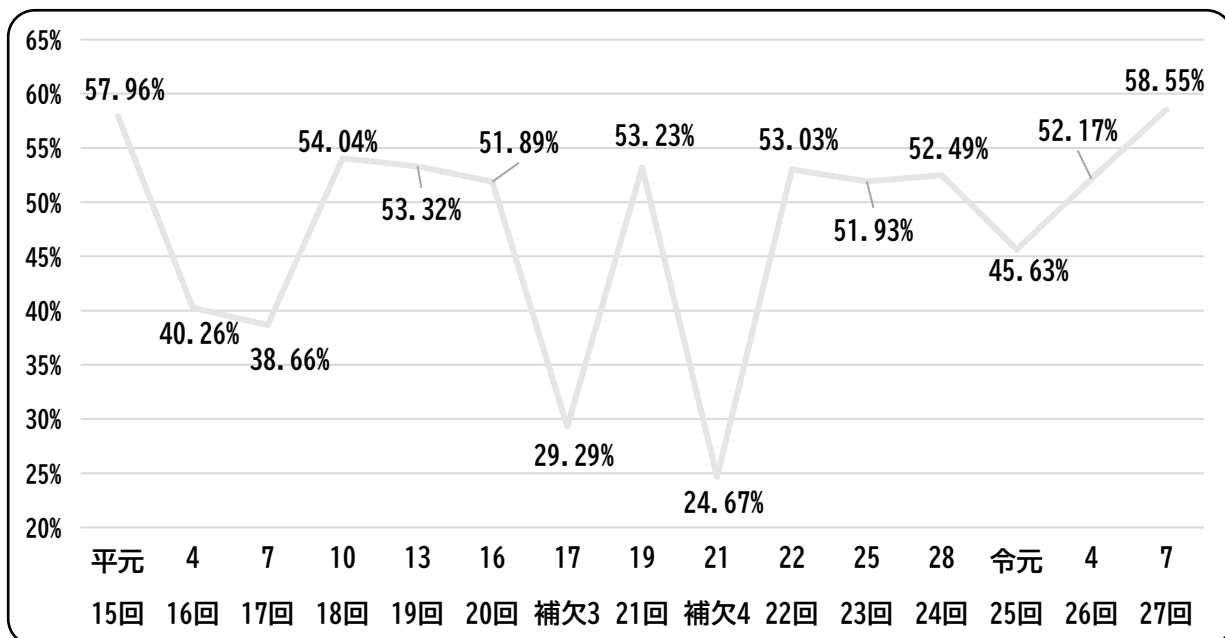
(1)国政選挙の投票率

衆議院小選挙区選出議員選挙投票率の推移



衆議院選挙の投票率は、政権の行方や争点が明確な選挙では投票率が上がりやすく、逆に関心が高まりにくい選挙では低下する傾向があります。

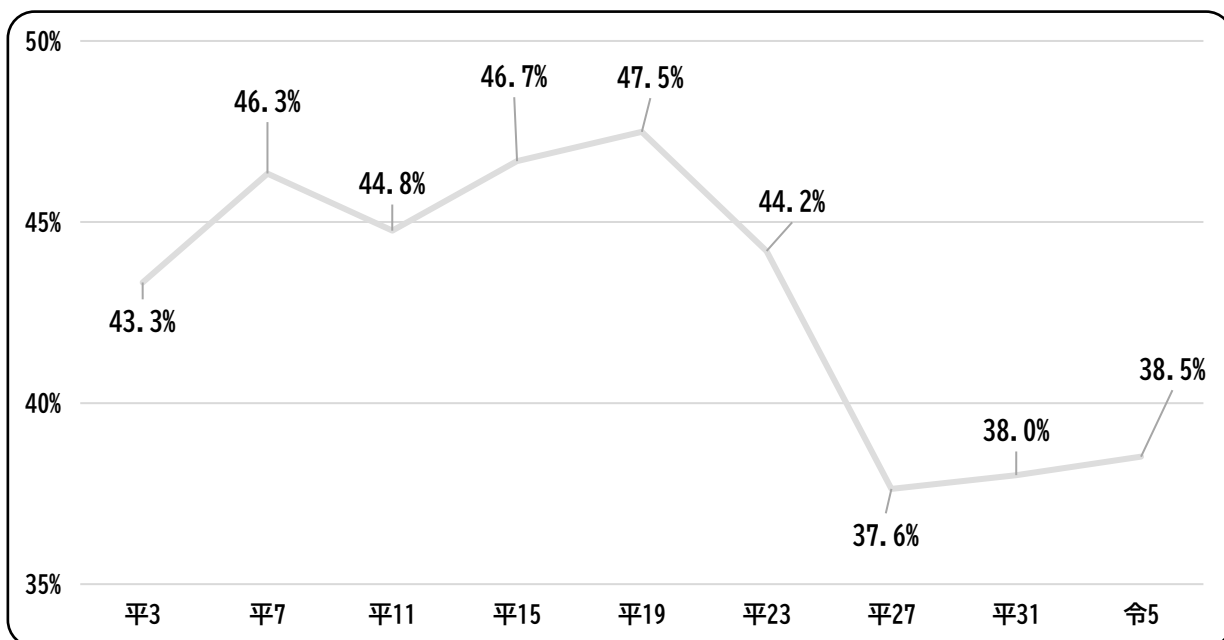
参議院神奈川県選出議員選挙投票率の推移



参議院選挙は、比較的投票率が伸びにくい一方、政治課題への関心が高まると上昇しやすい傾向があります。

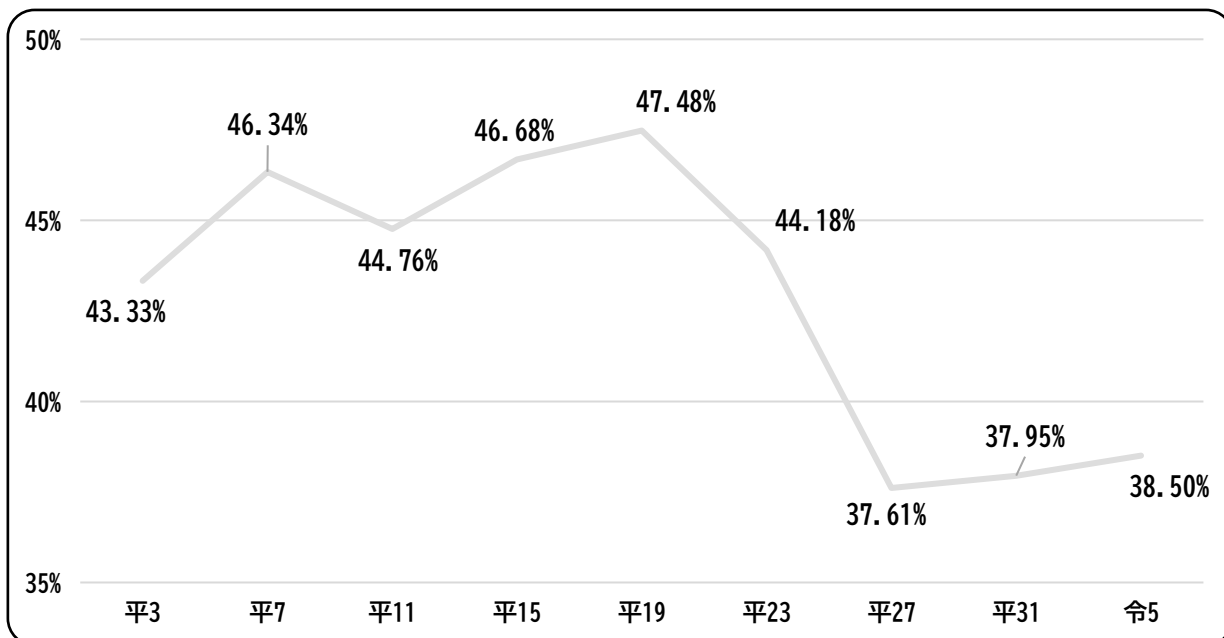
(2) 県の選挙の投票率

神奈川県知事選挙投票率の推移



神奈川県知事選挙における大和市の投票率は、近年 40%を下回る低迷が続いています。投票率が低い要因としては、候補者間の競争性が低いことや、争点の明確さに欠ける選挙が多いことが挙げられます。

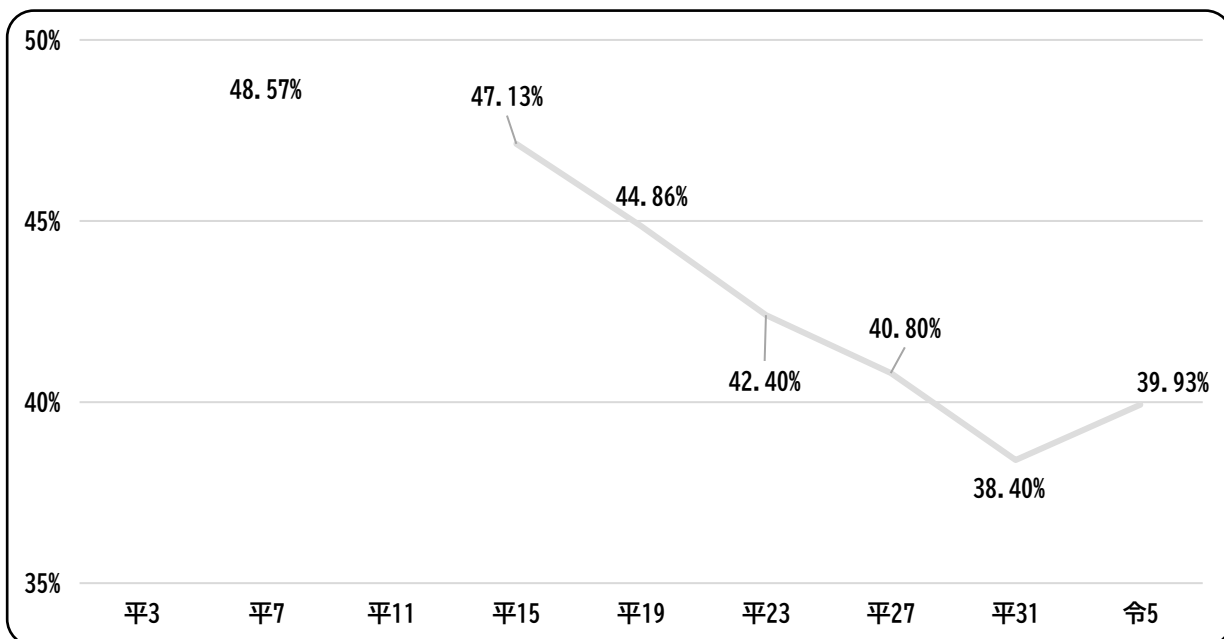
神奈川県議会議員選挙投票率の推移



神奈川県議会議員選挙の大和市における投票率は、こちらも 40%を下回る状況が続いています。投票率が低い背景には、有権者の地方選挙への関心の低さがうかがえます。

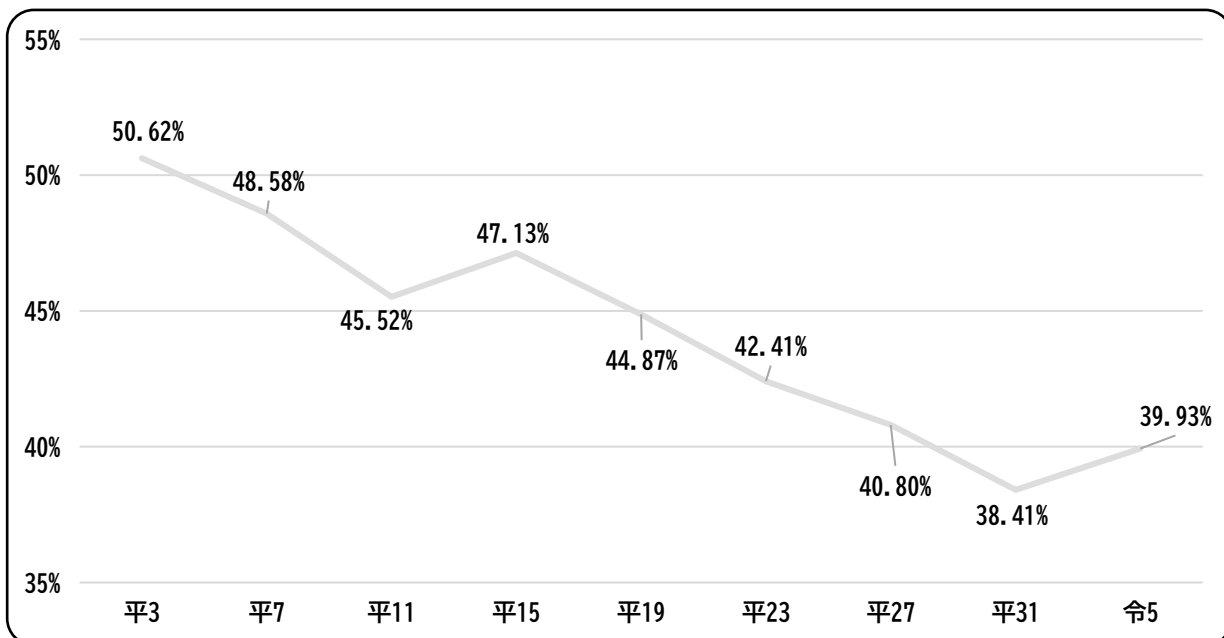
(3)市の選挙の投票率

大和市長選挙投票率の推移



大和市長選挙の投票率は、平成以降、全体として低下傾向にあります。近年は40%前後で推移しており、候補者間の競争の状況や争点の分かりやすさによって投票率が左右される傾向があります。なお、平成3年と平成11年は無投票でした。

大和市議会議員選挙投票率の推移



大和市議会議員選挙の投票率も、平成以降は低下傾向にあります。近年は40%前後で推移しています。近年はやや持ち直しも見られるものの、平成前半と比べると低い水準にあり、市議会議員選挙への関心の高め方が課題といえます。